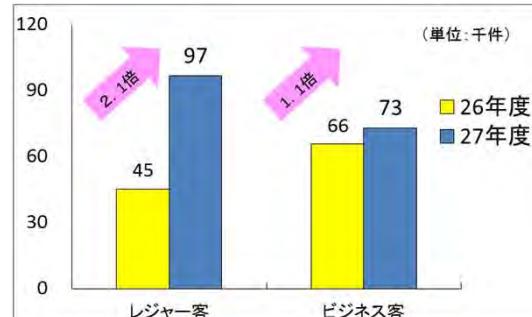


1-(3): 北陸新幹線開業効果(観光関連)

① 主要観光地入込客数(H27.4~H28.3)



■ 県外客のレンタカー利用実績(石川県)



【備考1】各観光地の入込客数は、平成27年度の累計。括弧書きは前年度比。

【備考2】黒部峡谷の入込客数には、冬季の閉鎖期間は含まれてない。

【備考3】レンタカー利用実績の各年度は、4月～翌年2月までの11か月。

【出所】

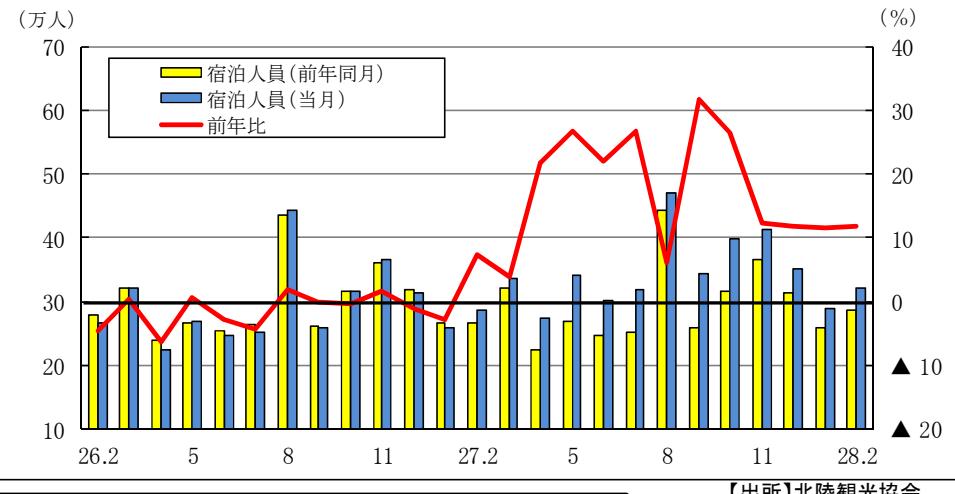
入込客数: 各観光地
写真提供(※): 金沢市、高岡市、各観光協会、

福井県立恐竜博物館

利用実績: 石川県レンタカー協会(主要8社の合計)

※写真の転載については、各写真提供元からの許可が必要です。

② 主要温泉地宿泊人員



③ 生の声

■ 観光地、娯楽施設

・開業以降、関東方面を中心に入込客数が大幅に増加し、これまで経験したがないほどの賑わいとなっている。
【石川: 観光地】

・外国人客は以前から多かったものの、新幹線開業後はより一層増加。
【富山: 観光地】

・関東方面からの予約が増加し、旅行会社やインターネットを通じた予約件数は、開業前の3倍超になった。
【石川: ゴルフ場】

■ 飲食、宿泊業

・関東客を中心に宿泊客が増加し、前年比2割増。インバウンド客もアジア方面を中心へ増加。
【石川: 温泉旅館】

・特急が金沢止まりになったことによる影響で、関西客が減少したが、それを圧倒的に上回る予約が関東方面から入っている。
【富山: 温泉旅館】

・メディア効果もあって、関西、中部方面からの客数も増加。
【福井: 温泉旅館】

・開業前の2月頃から売上が伸び始め、開業後は駅周辺や観光地付近での飲食店で売上が急増。
【石川: 飲食業】

■ 旅行業

・関東方面への旅行者が大幅増。旅行パック作成事業では、取引先のニーズの多様化により新商品の作成依頼や問い合わせが増加。
【石川: 旅行業】

1-(4) : 北陸新幹線開業効果(多業種への拡がり)

①小売業、卸売業

■百貨店・スーパー販売額



【出所】経済産業省、中部経済産業局

■プラスの声

- ・銘菓などのお土産需要やキャリーバッグ需要が増加。 【石川:スーパー】
- ・駅や観光地付近の店舗で客数が増加し、売上増。 【石川:コンビニ】
- ・間接需要として飲食店スタッフが来店するケースが増加。また、街中の店舗では、インバウンド需要もみられた。 【石川:食品スーパー】
- ・レンタカー向けに、まとまったロットで受注があった。 【石川:自動車販売】
- ・観光客の増加により、飲食店やお土産店が好調。 【富山:専門店】
- ・地場グルメ商品が全国から引き合いがあったほか、新幹線をパッケージにした商品も売れ行きが良かった。 【富山:食品卸】
- ・金沢や富山の取引先から弁当の注文が増加。特に金沢エリアの売上が伸びている。 【福井:食品卸】

■プラスマイナスゼロ

- ・お土産需要等の増加によるプラス効果と、ストロー現象による地元客の減少等のマイナス効果をトータルすると横ばい。 【百貨店】

■マイナスの声

- ・観光需要により、鮮魚の仕入価格が上昇しているものの、販売価格に転嫁できない。 【石川:食品卸】

②運輸業

■プラスの声

- ・観光客の増加により、タクシー乗車客が増加している。
- ・北陸地域の注目度が高まり、観光客が増加。
- ・開業前に鉄骨等の鋼材の運搬が増加。

【石川:旅客運送】

【福井:旅客運送】

【富山:貨物運送】

■影響なし

- ・タクシーに関しては、新幹線停車駅付近では客数が伸びていると聞くが、当社の営業エリアでは影響がなかった。 【富山:旅客運送】

③建設業

■プラスの声

- ・マンションや飲食店のほか、北陸に進出した企業の工場建設により、売上が2~3割増加。 【石川:一般工事】
- ・開業前は、駅前整備工事を受注できたため売上が伸長。 【富山:一般工事】
- ・開業前は、同業他社が金沢での工事に注力したため、当社が主力としている関西方面の工事を取り易かった。 【福井:一般工事】
- ・地価の上昇により住宅購入を急ぐ顧客がみられた。加えて、東京や信州在住の北陸出身者のリターン需要が増加。 【石川:住宅】
- ・当社の採用説明会において、開業前は北陸出身以外の学生はほとんどいなかったが、開業後は増加している。 【富山:住宅】

④製造業

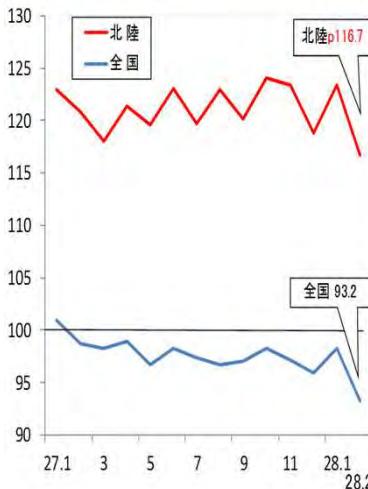
■プラスの声

- ・駅の店舗で弁当の売上が増加したほか、コンベンション関連の大型受注が多数入った。 【石川:食料品】
- ・大手スーパーが開催する北陸フェア向けに菓子の大型受注があり、開業直後から5月頃まで売上が二桁増。足下では落ち着いている。 【富山:食料品】
- ・道路舗装や駅・マンションなどの駐車場舗装需要が増加したため売上増。 【石川:窯業・土石】
- ・新幹線駅周辺ホテル等向けの受注があり、売上増。今後は福井延伸に係る建設需要の増加に期待。 【福井:窯業・土石】
- ・地元自治体等から、パンフレット等の作成依頼があった。 【富山:印刷】
- ・受注が増えたわけではないが、工場見学等が増加しており、当社のPRに繋がっている。 【石川:生産用機械】

1-(5) : 北陸新幹線開業効果(企業進出)

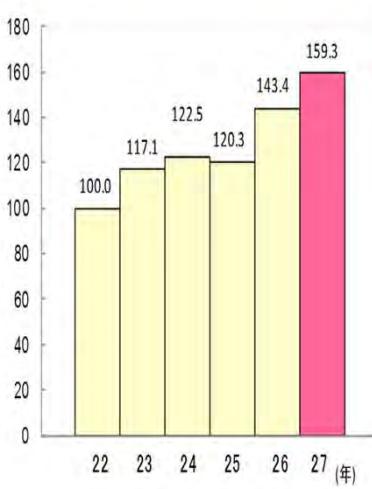
9

【図表1】鉱工業生産指数



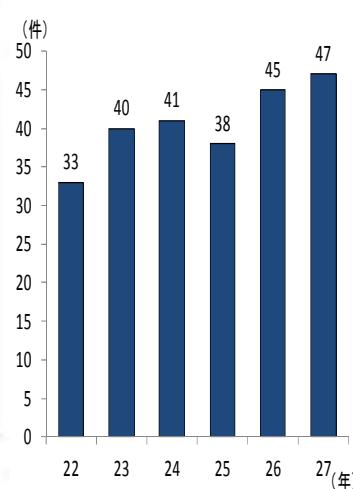
【出所】経済産業省、中部経済産業局、北陸【出所】当局「法人企業景気予測調査(北陸)」
財務局
【備考】電気・ガス・水道業を除く。22年度実績を
100とし、以降、当該年度1~3月期調査時の前年
度比より試算。

【図表2】設備投資額



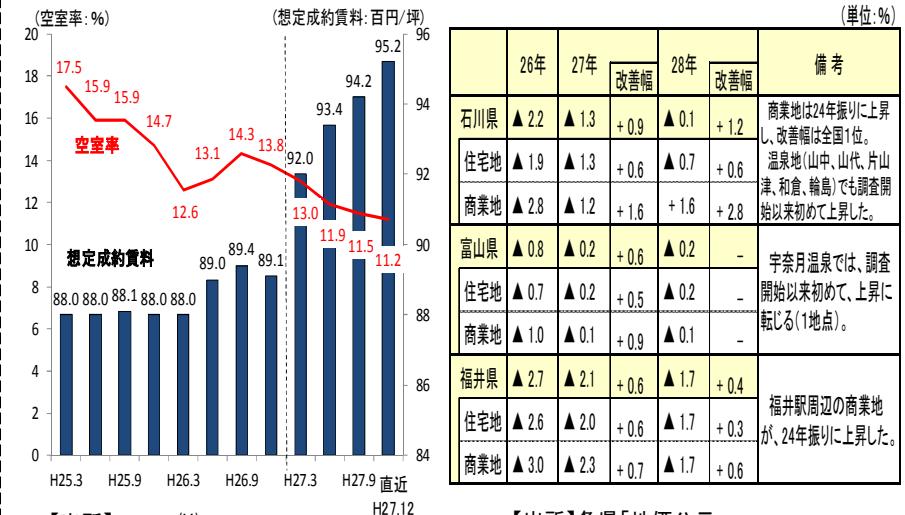
【出所】経済産業省
【備考】電気業を除く、北陸
3県合計

【図表3】工場立地件数



【出所】経済産業省
【備考】電気業を除く、北陸
3県合計

【図表5】オフィス賃料・空室率 及び 地価動向



【出所】CBRE(株)
【備考】金沢市内のオフィスエリア内にある
賃貸オフィスビル等を対象。

	備考		
	26年	27年	28年
石川県	▲ 2.2	▲ 1.3	+ 0.9
住宅地	▲ 1.9	▲ 1.3	+ 0.6
商業地	▲ 2.8	▲ 1.2	+ 1.6
富山県	▲ 0.8	▲ 0.2	+ 0.6
住宅地	▲ 0.7	▲ 0.2	+ 0.5
商業地	▲ 1.0	▲ 0.1	+ 0.9
福井県	▲ 2.7	▲ 2.1	+ 0.6
住宅地	▲ 2.6	▲ 2.0	+ 0.6
商業地	▲ 3.0	▲ 2.3	+ 0.7

【出所】各県「地価公示」
【備考】対前年変動率であり、価格基準日
は各年1月1日現在。

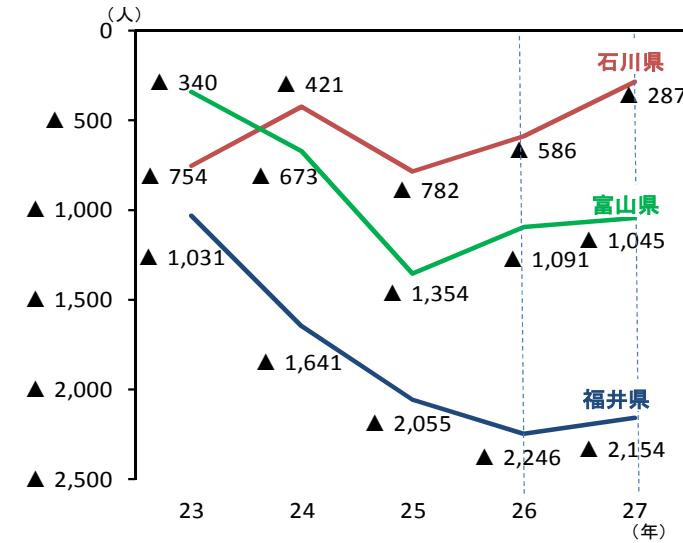
【図表4】本社機能の移転・拡充先(地方拠点強化税制認定先)

認定日	県	企業名	類型	概要	認定日	県	企業名	類型	概要
1	27.10	富山 YKK AP(株)	移転型	本社機能の一部移転	11	28.1	石川 株白山製作所	移転型	経営企画部、総理部、 研究開発部門の移転
2	27.10	富山 YKK AP(株)	拡充型	研究開発拠点「R&Dセンター」の建設	12	28.1	富山 株能作	拡充型	本社機能(調査・企画等)の拡充
3	27.10	富山 日本カーバイド工業(株)	拡充型	新研究開発センターの建設	13	28.2	福井 日華化学(株)	拡充型	研究所の整備
4	27.10	富山 ダイト(株)	拡充型	「医薬品工業化プロセス研究棟」の建設	14	28.2	福井 日本マイヤー(株)	拡充型	研究棟の整備
5	27.10	福井 日本電産テクノモータ(株)	拡充型	研究所の整備	15	28.2	富山 株ビーエーワークス	拡充型	本社機能(管理業務、企画部門)の拡充
6	27.11	石川 株JOLED	拡充型	研究拠点の建設					
7	27.11	石川 日機装技研(株)	拡充型	研究開発部門の移転					
8	27.11	石川 株アクトリー	拡充型	研究開発拠点の増設					
9	27.12	富山 富山化学工業(株)	拡充型	研究開発施設の整備					
10	27.12	富山 株日立国際電気	拡充型	研究開発エリアの拡張					

【出所】各県公表資料等から当局作成
【備考】地方拠点強化税制とは、本社機能を地方に移転・拡充した先に税制優遇措置等が与えられる。県の認定が必要。

■ 北陸新幹線開業を機に、災害時のリスク分散などの観点から、一部移転を実施した。【移転型企業】
■ 県内・产地観光のハブ拠点も目指し、産業観光対応を軸とした本社の移転・拡充に着手している。
【拡充型企業】

【図表6】社会増減数(県外からの転入者－県外への転出者)



【出所】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

2-(1): 変化と課題(強まる人手不足感と対応)

【変化】

- ①サービス・販売で求人が急増
- ②他業種にも不足感が波及

交流人口が増加したことから、宿泊・飲食サービス業・小売業で求人が急増。

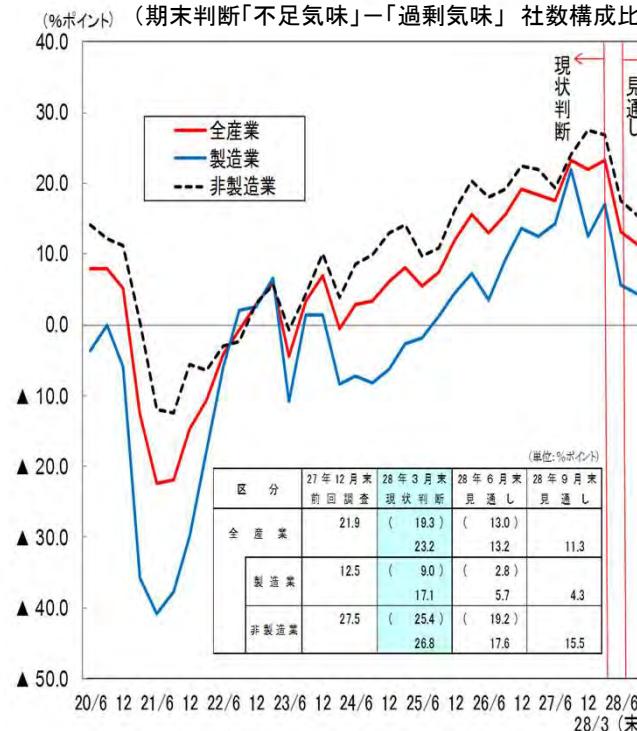
北陸は既に有業率も高く、全産業に人手不足感が強まる。

- 観光客の増加から「宿泊、飲食・サービス業」等で求人が増加している。【労働局】
- 新幹線開業に加え、大型商業施設の相次ぐ進出により、販売員への求人広告が急増している。【石川:広告業】
- 多額の費用をかけて、初めて、アルバイト等の募集チラシ5万枚を新聞等に折り込んだ。【石川:小売業】
- 地元では応募がないので、県外にまで広げて募集している。【富山:電気機械】
- 中途採用に注力しているが、なかなか採用できないため、東京や大阪の人材紹介会社に積極的に登録している。【富山:電気機械】

【図表1】職業別の有効求人倍率



【図表2】従業員数判断BSIの推移



【図表3】ホテルの開業状況

進出地	開業日・予定日	名称	客室数	進出地	開業日・予定日	名称	客室数
1 金沢市	26.11	ホテルマイステイズ金沢	244室	9 富山市	28.7頃	ドーミーイン「天然温泉露天の湯 御宿 野乃富山」	151室
2 金沢市	27.3	金沢彩の庭ホテル	64室	10 金沢市	28夏	Halema金沢	29室
3 富山市	27.4	四季彩	11室	11 鮎江市	28.11	ホテルルートイン 鮎江インター	160室
4 金沢市	27.4	ABホテル金沢	126室	12 砺波市	28年内	ホテルプライム 砺波インター	108室
5 富山市	27.10	ホテルルートイン 富山インター	150室	13 金沢市	29.1	豊町アートビレッジ	38室
6 金沢市	28.3	HATCHI金沢	14室	14 高岡市	29.2	東横イン(新高岡駅前)	246室
7 小松市	28.3	ルートイングランティア 小松エアポートビズコート	156室	15 高岡市	29.3	ホテルルートイン 高岡駅前	207室
8 福井市	28.4	福井マンテンホテル駅前	189室	16 金沢市	29冬	ユニゾイン金沢	200室

【出所】各県労働局、北陸財務局
【備考】パート含む常用(原数值)

【出所】当局「法人企業景気予測調査(北陸)」

【出所】各社公表資料、報道記事等から作成

2-(1): 変化と課題(強まる人手不足感と対応)

11

①サービス・販売で求人が急増

→人手不足を懸念する声が多い

- 人員を増やしているが、それ以上に宿泊客が増加。派遣等で対応しているが、賃金上昇やおもてなしの質の低下を懸念。
【石川:温泉旅館】
- レストランでは来客数は3割増も、料理人不足から、回転率を上げられず、これ以上、売上を伸ばすことができない。
【富山:観光地】
- 外国人観光客が増加しているため、対応できるスタッフを増やしたいが賃金も高く雇用が難しい。
【富山:温泉地】
- ホテルフロント業務への派遣需要が増加しているが、「土日深夜勤務あり」に対応できる人材がおらず、応えることができない。
【石川:派遣業】
- 売り場によっては店員を配置できていない。
【福井:小売業】

【課題・対策】コストをかけて対応

A. 設備改修、賃金引上げ

- 接客効率改善のため、宴会場を改装し、レストラン食へ誘導予定。
【石川:温泉旅館】
- 個人向けの食事スペースを整備し、従来の部屋食方式から切り替え。
【石川:温泉旅館】
- 客室係の募集賃金を引き上げており、併せて、在職者の賃金も引き上げている。
【富山:温泉地】
- 期間限定で、正社員、パート問わず、入社祝い金を支給。
【石川:小売業】
- 正社員のベアはないが、人手確保のため、パート社員についてはベアを実施するほか、募集賃金も上げている。
【富山:小売業】

B. 新たな取組み等

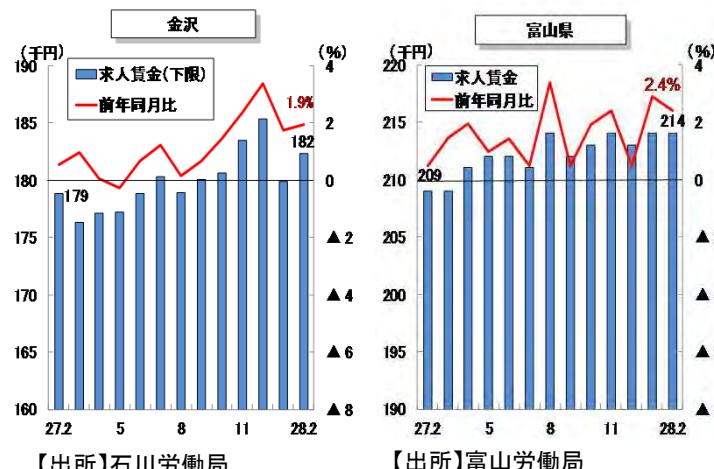
- 客室係について業界特有の就業時間(午後から翌日午前まで)が敬遠され女性が集まらないため、男性採用を開始。
【石川:温泉旅館】
- 組合が観光を学ぶ外国人留学生を受け入れ、研修として各旅館に配置予定。
【富山:温泉地】
- 新幹線沿線他県からの就職希望者が出てきたため、今年から北陸以外での採用説明会を開催予定。
【富山:小売業】
- 素泊まりプランを増やして対応。客単価が下落するため、本意ではないが、やむを得ない。
【石川:温泉旅館】
- 慢性的な人手不足から、止むを得ず営業時間の短縮や定休日を設定。
【石川:飲食業】

②他業態にも不足感が波及

→生産に支障が出ているといった声まで は出でていない

- 新幹線開業等により、サービス業等で賃金が上昇し、人手が流れしており、人員確保が困難。
【石川:繊維工業】
- 派遣を活用しているが、販売業等に流れていることから、希望数の確保が困難。
【石川:生産用機械】
- 大型商業施設の開業等により、人材が奪われており、パート等の人工費が上昇。
【富山:金属製品】

求人平均賃金(一般)



【課題・対策】IT・人材投資

- 人手確保及び技術継承への対応として、IT活用による生産性向上に取り組む。
【石川:繊維製品】
- 単身寮を相次いで開設、また、年収について国内企業上位レベルを目指す。
【富山:非鉄金属】
- 派遣は、調整弁ではなく優秀な人材確保のための入口になっており、1年間で5名(約3割)正社員に登用。
【富山:はん用機械】

2-(2): 変化と課題(多様化する顧客属性・ニーズの把握と対応)

【変化】

- ① 関東客の急増
- ② 固定客の伸び悩み

これまで、北陸3県内や関西・中京をメインとしてきたが、首都圏との交流が急増。

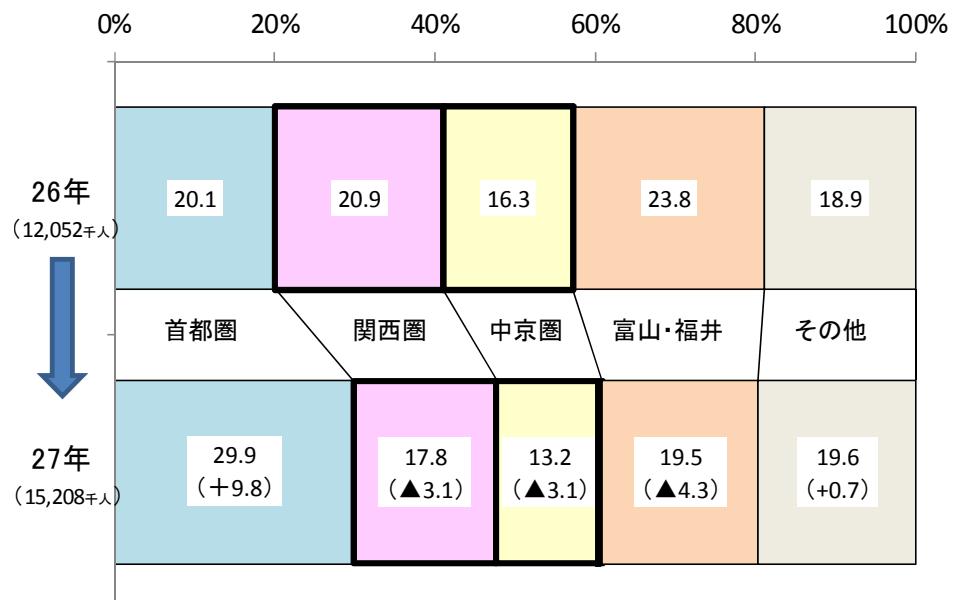
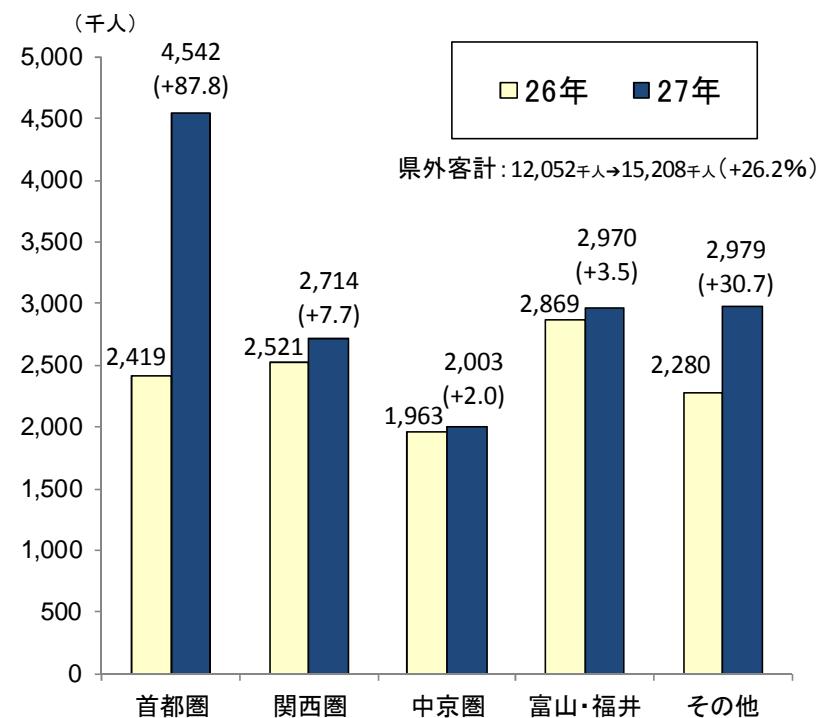
■ 新幹線開業前は、関西客と地元客が多くたが、開業後は関東客のシェアが逆転。
【石川:温泉旅館】

■ 関東客の動きが早く、予約が埋まってしまうため、関西客は減少している。
【石川:温泉旅館】

■ 新幹線沿線からの観光客が急増したため宿泊受入余力が不足したことや、特急列車の富山行き廃止によって、関西・中京客が減少。
【富山:観光地】

■ 観光客による混雑に嫌気がさして、地元客が減少している。
【石川:商店街組合】

【図表】石川県への発地別入込客(人数・構成比)



【出所】石川県

【備考】発地別の内訳は以下のとおり。

首都圏=東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・群馬県

関西圏=大阪府・京都府・兵庫県・和歌山県・奈良県・滋賀県

中京圏=愛知県・岐阜県・静岡県・三重県

① 関東客の急増

→ 宿泊単価の上昇を歓迎する声。

■ 関東客は、宿泊単価が高いほか、飲食店や土産物店での購買力も高いため、非常にありがたい。
【富山:温泉地】

■ 関東客は高級志向が強く、宿泊単価は2~3千円程度上昇している。
【石川:温泉旅館】

■ 宿泊単価の高い関東客が増加し、客数以上(約2割増)に、売上高が増加している(約3割増)。【石川:温泉旅館】

【課題・対策】新ニーズへの対応

■ 関東客は、ハード面への要求が高く、高級志向が強いため、客室の修繕や洋室化等のリニューアルが必要である。
【石川:温泉旅館】

■ 高銘柄でこだわりの土産品を購入する傾向が強く、こうしたニーズに合わせた品揃えも必要と考えている。
【石川:温泉旅館】

■ 関東からは少人数での宿泊が多いため、団体ツアー乗務員用休憩室を取り壊し、客室として改装することを検討中。
【石川:温泉旅館】

関東シフトを鮮明にする声や、急激な環境変化に戸惑う声もあり、今後の企業戦略やその効果にも注視。

■ 地元は人口減少や高齢化が進んでおり、これまでのような増加は期待できないため、引き続き関東客に期待している。【石川:温泉旅館】

■ 関西客や地元客対策として「団体プランの値下げ」があるが、関東客の増加で利益率が改善しており、値下げ戦略は悩ましい。
【石川:温泉旅館】

② 固定客の伸び悩み

→ 中・長期的観点で対策が必要との声。

■ 一部店舗で行列・混雑を避ける地元客がいたが、中長期的な観点からは地元客が来るようにしなければならない。
【石川:飲食業】

■ 安定した需要を確保するため、地元客の取り込みが必要と考えている。
【石川:小売店】

■ 2年目の最大の課題は、減少している地元客の取り込みである。
【石川:商店街組合】

【課題・対策】地元客の取り込み

■ 宿泊利用へのきっかけづくりとして、観劇を組込んだ日帰りの格安プランを提供。
【石川:温泉旅館】

■ 地元高齢客を誘客すべく、身体負担緩和策としてニーズの高い洋室に改裝。
【石川:温泉旅館】

■ カードポイントのアップなどにより、カード会員を増加させていきたい。
【石川:百貨店】

■ 観光客向けの定番土産以外の新商品(菓子等)の開発や、週替わりフェアを拡大。
【石川:百貨店】

■ 混雑の少ない日・時間をHP等で発信することを検討中。
【石川:商店街組合】



2-(3) : 変化と課題(強い沿線駅効果と面への展開)

【変化】

北陸3県とも交流人口は増加。
特に、終着駅かつ観光地の「金沢」では、交流人口が大きく増加。

■ 金沢市内の宿泊料金高騰によって、観光客が福井へ流入しており、客数・客単価ともに増加。
【福井:温泉旅館】

■ 金沢ナンバーのレンタカーが増加。
【福井:観光地】

■ 初年度は金沢が注目され、観光客が集中したことは事実。
【富山:観光地】

■ 金沢は、1日で兼六園、近江町市場などの主要観光地を回ってしまうことなどから、リピーターが来てくれるかどうかが懸念材料。
【石川:小売業】

【図表1】沿線駅の乗車人員数

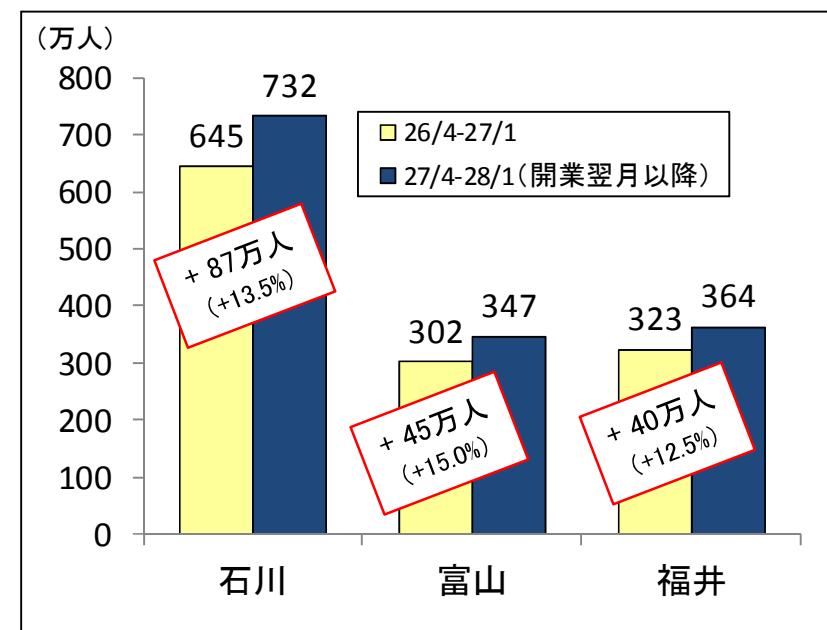
	北陸新幹線 (27/3.14 ～ 28/3.13)	金沢 =100
金 沢	8,600 人	100.0
富 山	4,700 人	54.7
新 高 岡	1,500 人	17.4
黒部宇奈月温泉	800 人	9.3

【出所】JR西日本金沢支社による資料から当局作成。

【備考】乗車人員数は、期間中1日あたりの人数。

また、自動改札機を通過した人数のため、自動改札機を通らない
団体人数は含んでいない。

【図表2】延べ宿泊者数



【出所】観光庁「宿泊旅行統計調査」から当局作成。

2-(3) : 変化と課題(強い沿線駅効果と面への展開)

15

【課題・対策】2次交通網の整備

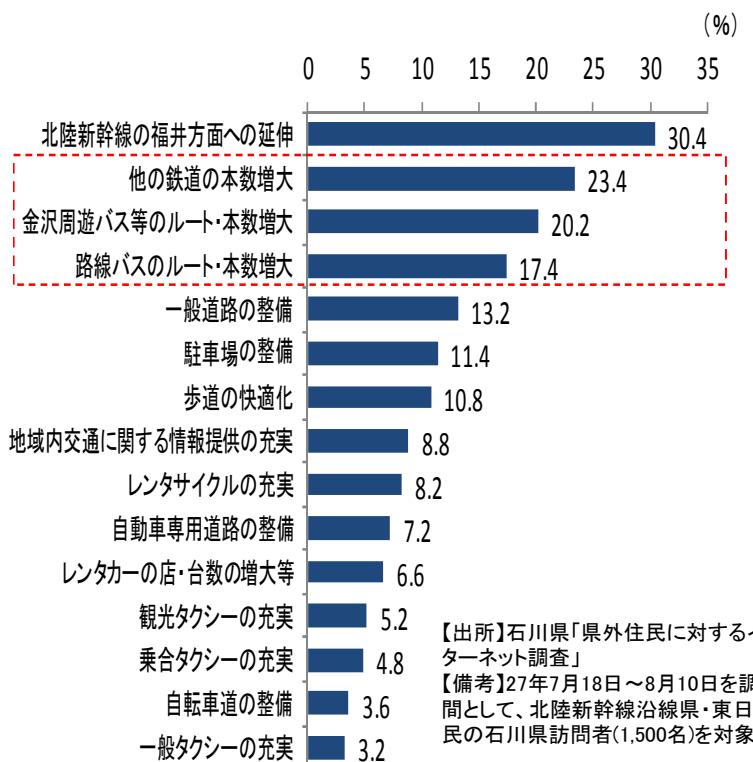
① 新幹線駅からのアクセス

- 高齢者や冬場の運転に不慣れな旅行客には、新幹線駅からの移動手段として公共交通機関を希望する者も多いため、2次交通の充実を求める。 【石川:旅行業】
- 新幹線駅から公共の直通バスが無いため、一部旅館では送迎バスを運行し対応している。 【富山:温泉地】
- 関東客はまず金沢を観光するが、金沢から当地への直行バスが少ない。女性や高齢者をターゲットとする温泉旅館としては大きなハンデとなっており、2次交通の整備を求める。 【石川:温泉旅館業】
- 北陸随一の集客力を誇る金沢から直接アクセスする公共交通網が無いため、直通バス開設を要望している。 【富山:観光地】
- ビジネス客も多く利用する県庁所在地(金沢・富山)から、当地への移動手段が限定的であるため、旅客会社や自治体と連携し、改善策を検討したい。 【富山:観光地】

② その他

- 産業観光に期待しており、新幹線開業後、旅行代理店からの照会も増えている。ただし、各施設間のアクセスは自動車以外に無いのが実情で、課題の一つとなっている。 【富山:経済団体】

【図表3】移動交通の改善要望



【課題・対策】広域・周遊観光の推進

- 北陸隣県の各自治体や観光地とも連携し、周遊観光・広域観光に注力する必要がある。 【富山:観光地】
- 同業他社と一緒に沿線ホテルと連携し、旅行会社に広域観光プランの策定を働きかけている。 【石川:シティホテル】
- 各県各社でバスや電車路線が新設されているが、運営会社が異なるため、乗換時刻を調べるのが大変で、周遊観光の妨げとなっている。
岐阜・長野も含め、バス・私鉄・JRなど全ての交通機関を網羅した検索システムの開発を提案したい。 【富山:観光地】

■ 石川・富山両県の鉄道・バス計5社の路線が乗り放題(※)となる「北陸トライアングルルートきっぷ」は、割安感のほか、料金支払いの簡便性等から、観光客に北陸観光の選択肢を増やしている。

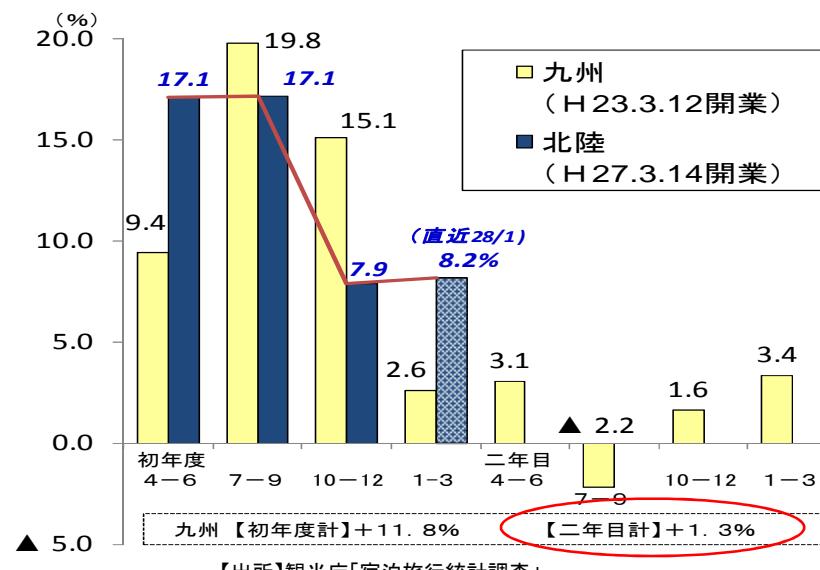
引き続き、県や地域を跨いだ連携による商品設計が期待されるほか、例えば、交通系ICカードを活用し、乗継の利便性を高めるといった工夫も必要と考える。※2日間:大人2,500円、小人1,250円 【石川:観光地】

■ 他地域間を乗り放題で結ぶ「フリー切符」の販売など、旅客運送会社には、乗継の利便性を高める工夫を願いたい。【富山:観光地】

3: 開業2年目以降の見込み

先行事例では、開業効果に落ち着きがみられるが、2年目も増加。

【図表】延べ宿泊者数の増加率



開業効果の剥落を懸念する声

- 観光客が減少し、ホテルの利用客も減少するのではないか。【富山:リネンサービス】
- 繁忙期を中心に満館状態が頻発していたため28年度は伸びしきがほとんどなく、前年並みを維持できれば相当良い。【福井:温泉旅館】
- 新幹線効果の一巡により、3月下旬から売上高は前年を下回る。【石川:小売業】
- 県外客による北海道新幹線へのシフトのほか、県内客にも石川県へのストローを懸念。【富山:温泉旅館】
- 東京でのショッピングを経験した消費者の目が肥え、当店での購入意欲が減少することを懸念している。【富山:小売業】

開業効果の持続・拡大を期待する声

- 北陸新幹線ブームは2年目も続くと見込んでいる。3年目以降は落ちるが、開業以前の水準まで落ち込むことはない。受入側としては、地元ならではの商品開発、従業員の接客力向上、地公体等との連携による広域観光の推進等に注力したい。【富山:観光地】
- 新幹線開業効果は数年間は続くと予想している。ただし、「何もしなければ年々開業効果が薄れていく」ため、北陸3県や長野県等の観光地等と連携をさらに強化する必要がある。【富山:観光地】
- 九州新幹線でも開業から3年目までは乗客数が伸びており、2年目の落ち込みは少ないのでないか。【石川:小売業】
- 開業1年目に比べれば落ち着くが、高水準を維持する見込みで、集客維持のためにも老朽化設備の更新を検討している。【富山:シティホテル】
- 引き続き受注は好調と見込むが、業務繁忙によって品質低下が起こらないよう製造効率や品質管理の維持・向上を図りたい。【福井:食料品製造】

① 関東の潜在需要

- 開業年の混雑を避けた関東客がそろそろ動き出すとみており、勢いはまだまだ続くと考えている。【石川:温泉旅館】
- 関東は巨大な市場で、未訪客の取り込みも十分可能。【石川:温泉旅館】
- 2年目以降も関東客を中心に、好調を維持する見込み。【福井:宿泊業】
- 宿泊客のリピートや新規の宿泊客の増加によって、開業1年目と同程度か、さらに増加すると見込んでいる。【富山:温泉地】

② インバウンド需要

- 4月から販売された「北陸アーチパス」も追い風となり、旺盛なインバウンド需要が続くことを期待している。【福井:観光地】
- 増加傾向にある外国人観光客の対応のため、観光の現場研修を望むアジア人留学生を受け入れる予定。【富山:温泉地】
- 外国人観光客の利用が増加しており、受付に多言語対応のタブレット端末の設置や、カーナビの多言語化を進めている。【石川:レンタカー】

③ さらなる波及効果

- 開業1年目は、金沢が特に注目され宿泊客が流れていた印象だが、2年目は富山にも目が向いてくると思われ、効果は継続する。【富山:温泉旅館】
- 本社機能移転の進展による2次需要に期待。【石川:自動車ディーラー】

④ 福井延伸

- 金沢以西の新幹線関連工事によって、建設業全体として新幹線関連の仕事は増える見込みであり、期待したい。【福井:建設業】
- 福井延伸により企業の進出等が増えると、様々な企業とのタイアップ等により業績向上が期待できる。【福井:貸衣装業】

【まとめ】開業効果と課題について

1. 北陸新幹線の開業効果

- ① 関東客を中心に多くの観光客を呼び、金沢や富山など新幹線沿線のみならず、能登や加賀、福井県内の観光地等にも波及。
- ② こうした交流人口の増加は、小売業、飲食・宿泊業にも寄与。
- ③ これら需要の高まりは、接客等のサービス業や販売業等を中心として求人が増加するなど、雇用面にも効果。
- ④ 製造業では、観光や雇用面ほどの効果は見えにくいものの、新幹線開業によるアクセス向上等から、企業誘致の機運も上昇。

2. 変化と課題

- ① サービス・販売業を中心とした求人の増加による「人手不足対策」。
- ② 急増する「関東客への対応」と伸び悩む「固定客対策」。
- ③ 沿線駅と観光地、観光地と観光地等を結ぶ「2次交通網の整備」。
- ④ 地域や業種を跨いだ連携による「広域・周遊観光の推進」。

3. 開業2年目以降の見込み

2年目の反動減を懸念する声もあるが、関東の持つ巨大な潜在需要やインバウンドに期待する声も多い。

「何もしなければ年々開業効果が薄っていく。」との声があった。

引き続き、北陸の持つ魅力が磨き上げられるとともに、人手不足対策など課題解消への取組みが進展し、開業効果が持続・拡大していくことを期待したい。

【参考】北陸新幹線開業前後の関連計数

			開業前	→	開業後	増減率(%) ●は増減差	出所 (※)は、出所資料から当局試算	備考	開業前	開業後
1	北 陸 新 幹 線 利 用 状 況 (上 越 妙 高 一 糸 魚 川 間)	(万人)	非公表		926	注 295	西日本旅客鉄道株金沢支社 【注】左記295は、上記出所から「前年比」として公表されている数字。	・前年比は在来線特急「はくたか・北越」(直江津一糸魚川間)の利用実績との比較。	26/3.14 -27/3.13	27/3.14 -28/3.13
2	観 光 入 込 客 数 (石 川 川 县 内)	(万人)	2,161		2,502	+ 15.8	石川県		26年計	27年計
	県 外 客		1,205		1,521	+ 26.2				
3	觀 光 地	(万人)	204 65 67 15 71 74		309 79 80 26 93 107	+ 51.6 + 21.6 + 18.6 + 65.8 + 31.4 + 45.0	石川県 輪島市 黒部峡谷鉄道(株) 瑞龍寺 福井県立恐竜博物館 福井市朝倉氏一乗谷遺跡		26年度計 26年度計 26/4-11 26年度計 26年度計 26年度計	27年度計 27年度計 27/4-11 27年度計 27/4-28/2 27年度計
4	主 要 温 泉 地 入 込 客 数	(万人)	324		382	+ 18.0	北陸観光協会	山中、片山津、山代、粟津、湯涌、和倉、輪島、宇奈月、芦原の合計	26/4-27/2	27/4-28/2
5	延 ベ 宿 泊 者 数	(万人)	1,270		1,443	+ 13.6	観光庁(※)	北陸(※)	26/4-27/1	27/4-28/1
	日 本 人		1,223		1,373	+ 12.2				
	外 国 人		47		70	+ 49.0				
6	レンタカー貸渡し件数 (石川県レンタカー協会加盟主要8社)	県外レジャー客 (石川県レンタカー協会加盟主要8社)	45,365		96,590	+ 112.9	石川県レンタカー協会	協会加盟主要8社ベース	26/4 -27/2	27/4 -28/2
		県外ビジネス客	65,616		72,941	+ 11.2				
7	百 貨 店 ・ ス 一 パ 一 販 売 額	(億円)	3,668		3,688	+ 1.8	中部経済産業局	北陸 前年比は調整後	26年計	27年計
	食 堂 ・ 喫 茶		25		26	+ 4.8				
8	水 産 物 取 扱 金 額 (金 沢 市 中 央 卸 売 市 場)	(億円)	490		522	+ 6.6	金沢市中央卸売市場		26年計	27年計
9	消 費 者 物 値 指 数 (金 沢 市)	H22 =100	99.0		100.1	+ 1.2	総務省	食品及びエネルギーを除く	26年 平均	27年 平均
10	有 効 求 人 倍 率 (全 数)		1.38		1.51	● + 0.13	厚生労働省(※)	北陸(※)		
	除 < 臨 時 ・ 季 節	(倍)	1.26		1.39	● + 0.13				
	サ 一 ピ ス		2.79		3.27	● + 0.48		全数から臨時・季節等を除く =パート含む常用	26年 平均	27年 平均
	販 売		2.11		2.46	● + 0.35				
11	求 人 募 集 賃 金 (一 般)	金 沢 富 山 县 福 井 县 (千 円)	179 209 176		182 214 179	+ 1.9 + 2.4 + 1.9	石川労働局 富山労働局 福井労働局	下限賃金 平均賃金 下限賃金	27/2	28/2
12	鉱 工 業 生 产 指 数	H22 =100	115.9		121.2	+ 4.6	中部経済産業局	北陸	26年 平均	27年 平均
	食 料 品		107.5		105.8	▲ 1.6				
13	工 場 立 地 件 数 (除 < 電 力 業)	石 川 县 富 山 县 福 井 县 (件)	17 15 13		20 18 9	● + 3 ● + 3 ● ▲ 4	経済産業省	1,000m ² 以上の用地	26年	27年
14	地 価	石 川 县 富 山 县 福 井 县 (%)	▲ 1.3 ▲ 0.2 ▲ 2.1		▲ 0.1 ▲ 0.2 ▲ 1.7	● + 1.2 ● - ● + 0.4	各県「地価公示」	全用途の平均変動率	27年 1月1日	28年 1月1日
15	オ フ ィ ス 市 況 (金 沢 市)	空 室 率 (%)	13.8		11.2	● ▲ 2.6	CBRE(株)		26/12末	27/12末
		想定成約賃料 (円/坪)	8,910		9,520	+ 6.8				
16	人 社 会 増 減 数	石 川 县 富 山 县 福 井 县 (人)	▲ 586 ▲ 1,091 ▲ 2,246		▲ 287 ▲ 1,045 ▲ 2,154	● + 299 ● + 46 ● + 92	総務省	転入者数-転出者数	26年	27年